

母子保健データの活用

寝屋川市

こども部子育て支援課

榎原真裕美

寝屋川市の紹介

- 地勢

大阪府の東北部 面積24.70km²

京阪沿線3駅 JR沿線1駅

大阪都市圏のベットタウンとして発展

- 人口(平成29年10月1日時点)

235,959人

65歳以上 67,755人(割合29.5%)

0歳 1,613人(割合0.1%)



平成31年4月 中核市

母子保健地区担当保健師 19人

システム管理している情報

出生前



出生後



母のデータ

妊娠届出

妊婦健診

産婦健診

妊娠期から子育て期まで
切れ目ないデータ

乳児健診

(1か月児)

乳児後期

(9~11か月児)

4か月児

1歳6か月

2歳歯科

3歳6か月

育児教室

乳児期 発達・育児支援
幼児期 発達フォロー

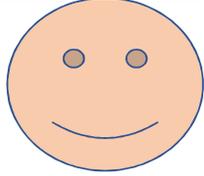
経過観察健診

乳児期
小児 (神経・発達相談)
発達相談

予防接種

要保護児童

システム個人画面



氏名 寝屋川 さくら

住所 寝屋川市本町 1

続柄 子

・
・

担当保健師 榎原 真裕美

予防接種

母子保健事	4 か月児健診	H26.9.1
予約状況	1 歳 6 か月児健診	H27.11.1
プロフィール	経過観察健診 V	H29.10.1
	3 歳 6 か月児健診	H29.11.2
	要保護児童	R1.10.1

世帯情報

氏名	生年月日	続柄
寝屋川 ねやまる	昭和64年 1 月 1 日	夫
寝屋川 はちかづき	昭和64年 1 月 1 日	妻
寝屋川 さくら	平成26年 4 月 1 日	子

経過観察健診の名簿

来所経路		目的
受診日	健診名	
H30.11.2	3歳6か月児健診	精神発達
H29.12.3	3歳6か月児健診	精神発達・多動
H29.11.4	経過観察健診Ⅴ	多動
H29.11.5	3歳6か月児健診	精神発達・多動
H27.11.6	経過観察健診Ⅴ	ことば
H29.11.7	経過観察健診Ⅱ	ことば

経過観察健診名簿を作成すると
前の健診状況・目的も表示される

健診に執務するスタッフ全員が、対象を把握できる

システム導入の経過

平成14年システム導入に向け準備

課題：保健師が求める機能とシステム機能が一致しない

紙台帳

○メリット

- ・ 健診の1回あたりの予約状況
- ・ 『拒否』『キャンセル』の状況
- ・ 予約作業状況

一目瞭然

○デメリット

- ・ 作業で時間がかかる
- ・ 帳票ごとに記入が必要
- ・ 予約者とキャンセルが入り混じり見づらい

システム

○メリット

- ・ 一回の入力で全ての帳票に張り付く
- ・ 常に最新の状況が確認できる
- ・ 作業時間の短縮

○デメリット

- ・ 『拒否』『キャンセル』を含めた一覧性がない

台帳管理をするようなシステムづくりを目指す

平成15年12月システム導入

母子保健の変遷に合わせてカスタマイズ

- ・年々増加する児童虐待(特定妊婦含む)
 - 母子保健で支援するケースを入力
要保護児童計上時期・重症度・虐待の種別
- ・子育て世代包括支援センターの開設
 - 妊娠届出の情報と合わせ、面談の情報を保存
- ・平成31年度 中核市スタート
小児慢性特定疾病児等の情報管理

新たなシステムを導入

タブレットを使ったスクリーニング



妊婦自身が入力

転居・里帰りの予定は？
家族からのサポートは？
入籍は？
妊娠・出産で不安なことは？
お仕事は？
心療内科など受診歴は？

リスク判定がその場でできる

タブレット画面①

妊婦面談アンケート

開始するボタンを押してください。



回答に必要な目安時間は10分程度です。
不明な項目は飛ばしてください。
※回答必須の項目については極力回答してください。

開始する

タブレット画面②

1. お住まいの地域について

3-2. 夫・パートナーの仕事について（当てはまるものをすべて選んでください）



正規雇用で働いている



パートナーがいない



正規雇用ではないが働いている



求職中



夜間勤務が多い



休日勤務・残業が多い

中断

戻る

次へ

タブレット画面③

3. 妊娠されたお母さんの気持ちについて

12. 今回の妊娠について

希望して自然に授かった

予定外で自然に授かった

治療にて授かった

中断

戻る

次へ

タブレット画面④

14-1.不安やとまどいを感じた理由は何ですか（当てはまるものをすべて選んでください）

- 予定外の妊娠
- 夫・パートナーとの関係
- 親族との関係
- 経済的なこと
- 自身の体調のこと

選択肢以外の理由の場合はそのまま次の質問へ進んでください。

中断

次へ

大阪府が作成したアセスメントシート(妊娠期)に基づいた設定

A	B	C	D
若年(17歳)	第一子を20歳未満で出産	精神科受診歴	支援者 いない・分からない
妊娠届出20週以降	予定外の妊娠	社会制度の利用 療育手帳 自立支援事業	不安の内容に「夫との関係」
要保護児童のきょうだいがいる	赤ちゃんへの気持ち 「何も感じない」選択	不安の内容に「経済的な事」	不安の内容に「親族との関係」

⋮
1つ該当

⋮
1つ該当かつ
全体で2つ以上
該当

⋮
2つ以上該当
かつ
Dで1つ該当

アセスメントシート(妊娠期)に基づいたリスク判定

個人情報を表示します

宛名番号	143	漢字氏名	寝屋川 花子
		カナ氏名	ネガワハコ
生年月日	平成31年5月29日		
住所(町名)	本町		
担当保健師			

リスク判定の登録を行います

- 17歳以下 妊娠20週以降の届出
 兄弟が要保護児童 届出住所が住基と不一致。住所不定
 自動判定基準に該当

自動リスク判定	黒

タブレット入力結果(面談側の記録)

アセスメントシート						作成日	平成31年6月3日		
氏名	寝屋川 花子		生年月日	平成31年5月29日		0歳	住所	本町	
						面談者	檜原 真裕美		
						地区担当保健師			
質問	解答欄	リスク(+)	備考	質問	解答欄	リスク(+)	備考		
1	現住所の居住期間	1年以上		17 18	妊娠前の身長、体重	165.0cm 62.0kg 22.8			
2	転居の予定 「ある」の時	ない		19	今回の妊娠前から医療機関で定期受診している疾患の有無	はい	○		
3	入籍の有無	はい		20	心療内科など心の健康の面での医療機関受診の有無	受診を勧められたことがある	○		
	入籍予定の有無								
	パートナーの仕事								
4	就労状況	正規雇用で働いている	○	21	次に示すような公的なサービスを受けていますか？	なし			
5	同居している家族	夫またはパートナー		22	生活リズムについて	ほぼ規則正しい			
6	妊娠は何回目	2回目		23	食事について	和食が多い			
7	出産は何回目	2回目		24	お酒について	今はやめている			
	一人目の妊娠年齢	14歳		25	たばこについて	吸わない			
8	これまでの妊娠・出産で何か不安なことなどはあったか	なし		26	相談したいこと、聞いておきたいこと、不安なことなどはありますか	自身の身体			
9	定期的な受診	これから定期的に受診する							
10	妊婦健診で何か指導を受けたか	いいえ							
11	健診の結果や体調で不安なこと	いいえ							
12	今回の妊娠は…	希望して自然に授かった		総合判定					
13	お腹の中の赤ちゃんについて	はい		判定					
14	妊娠がわかった時の気持ち	どうしたらよいかわからず困る	○	17歳以下(個人情報基礎より)		○	判定… 黒 アセスメントシートを記入		
	質問12-1	予定外の妊娠		妊娠20週以降の届出(妊娠届出情報より)					
				兄弟が要保護児童(妊娠届出情報より)					
15	里帰り出産の予定	いいえ		届出住所が住基と不一致。住所不定(妊娠届出情報より)			判定… グレー アセスメントシートを記入		
16	妊娠中や産後の支援者の有無	わからない	○	自動判定基準に該当		○			
	支援者はだれか			上記いずれも該当なし			判定… 白		
						特定妊婦アセスメントチェックの要否			

タブレット入力結果(妊婦へ提供する支援プラン(表面))

子育て支援プラン

すくすく計画書

寝屋川 花子

様

～あなたが安心して子育てをするために～



保健師・助産師による専門的なサポート

あなたの担当保健師	(作成日現在)
連絡先	072-812-2213(直通) 子育て世代包括支援センター(子育て支援課内)



お住まいの地域ごとに担当保健師がいます
栄養士・歯科衛生士の相談対応も可能です
出産・育児のことなどご相談ください。

子育て世代包括支援センターでは
助産師による相談も行います
妊娠中からのおっぱいに関する相談に
助産師が相談に応じます
気軽にご相談ください。

子どもと遊べる施設の充実



RELATTO
こどもセンター
子育て支援センター
等々の支援拠点

赤ちゃんを連れて遊べる場所がたくさんあります
おむつ交換や授乳スペース等があります

あなたのお住まいの

第一 中学校校区の支援拠点は

こどもセンター(おやおほっとステーション)

電話: 072-839-8815

健康管理のための制度



妊婦健康診査 12万円分補助!
妊婦歯科健康診査 無料!!!
産婦健診 1万円分補助!!!

便利なアイテム



子育てに関する情報冊子『子育てナビ』
健診や予防接種の管理ができるアプリ『もっと寝屋川』
お得な『ねやがわ子育てスタート応援クーポン』
ほかにも、あなたの子育てを応援する制度が色々あります

* もっと寝屋川アプリのインストールはこちらから *

iOS (iPhone) 用



Android用



～あなたの妊娠カレンダー～

月数	妊娠初期				妊娠中期								妊娠後期										出生後											
	3か月			4か月	5か月				6か月				7か月				8か月			9か月				10か月										
妊娠週数	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	出産予定日
週の開始日	5/14	5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9	7/16	7/23	7/30	8/6	8/13	8/20	8/27	9/3	9/10	9/17	9/24	10/1	10/8	10/15	10/22	10/29	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/17	2019/12/24	必要な手続き
赤ちゃんの様子と目安体重	30g 内臓が ほぼ完成する			110g 胎盤が完成する				240g 聴覚が発達 胎動がわかる				600g 骨格がしっかりしてくる				1000g 目鼻立ちが はっきりしてくる				1800g お腹の中の位置が 安定する			2400g 皮下脂肪がついてくる			3000g 外形上の発育が 完了する				2019/12/24	*出生届 ・児童手当 ・こども医療費 申請			
お母さん				kg				kg				kg				kg			kg			kg				目標体重								
妊前BMI	22.8																									69~74 kg								
妊婦健診のペース	1回/4週															1回/2週										1回/週								

作成日 2019/6/3
作成担当 梶原 真裕美

裏面にあなたの子育て支援プランを作成しました ⇒

タブレット入力結果(妊婦へ提供する支援プラン(裏面))


あなたの子育て支援プラン


☆☆ 赤ちゃんが生まれました ☆☆

- 出生届
- 児童手当
- 子ども医療費の助成
- 児童扶養手当
- 予防接種

他にも使えるサービスがいっぱい!
詳しくは「ねやがわ子育てナビ」をみてね

使ってみると大助かり!
お母さんが笑顔♪子どもも笑顔♪

- 新生児訪問サービス
- すこやか助産師訪問
- 妊娠期からの乳房ケアルーム
- 育児援助・家事援助ヘルパーの派遣
- ファミリー・サポート・センター
- 一時預かり事業
- 保育所等の申込み

★市内には赤ちゃん連れで遊べる場所がたくさんあります。
★母子健康手帳交付時にお渡しした「子育てナビ」には役立つ情報が詰まっています。ご活用ください。
★市の中心部には子育てリフレッシュ館 RELATTO(リラット)があり、子どもを遊ばせたり、一時保育が利用できます。
「妊娠期からの乳房ケアルーム」も開設しており、助産師や保健師に相談することができます。



□何かご相談があれば子育て支援課までご連絡ください



□ 月頃にご連絡します

システム活用によるメリット

妊娠期から子育て期までの切れ目ないデータの保有

- ・誰でも最新の情報にアクセスできる
- ・地区保健師が不在でも、その子の状況がわかる
- ・離れた場所からでも、同じ情報が見られる
- ・継続的な支援の情報を活用できる

市民のメリット

速やかな対応

(母子手帳再発行・育児相談など)

今後の課題

- ・集団評価
- ・事業の効果検証



母子保健情報連携の必要性

寝屋川市在住者＝今、保有しているデータでOK

本市の特徴・・・

『転出入が多い』

リスクがある人

同意がある人

↓
サマリー

同意なければ
情報なし

リスクない子
情報不要？

最低限の
情報は
得られる

都市部の特徴

『人口流動化』

大きな社会問題

『児童虐待』

↓
命を守る

母子保健情報連携による展望

寝屋川市の管理している情報



母のデータ



こどものデータ

予防接種データ

妊娠期から子育て期まで
切れ目ないデータ

情報連携

全国のこどもの情報

健診の項目		
体格	体重	
体格	身長	

全国の情報をつなぐため・・・

システム管理する項目の選定

データの持ち方(テキスト、コード化、単位など)

⇒ できるだけ多くの市町村が活用すること

スタートは
個別から・・・